

平成 30 年度 琉球大学 2 次試験後期日程 (数学問題)
理学部 (数理科学科) 平成 30 年 3 月 12 日

• 数 I・II・III・A・B (120 分)

- 1 1 辺の長さが 1 の正方形 ABCD において、辺 AD の中点を E とする。辺 AB 上に点 P をとり、線分 AP の長さを x とおく。次の問いに答えよ。
- (1) x を用いて $\tan \angle EPC$ を表せ。
- (2) 点 P が辺 AB 上を動くとき、 $\tan \angle EPC$ の最大値と最小値を求めよ。
- 2 座標平面において、曲線 $y = e^x$ 上の 2 点 A, B を結ぶ線分の中点が $(0, 2)$ であるとする。このとき、直線 AB と曲線 $y = e^x$ で囲まれた部分の面積を求めよ。
- 3 $f(x)$ は 4 次の整式で、 x^4 の係数は 1 であるとする。次の問いに答えよ。
- (1) 方程式 $f(x) = 0$ が 4 個の異なる実数解をもつとき、方程式 $f'(x) = 0$ は 3 個の異なる実数解をもつことを示せ。
- (2) $f(x)$ が $f'(0) = f''(0) = 0$ をみたすならば、方程式 $f'(x) = 0$ の異なる実数解の個数は 2 個以下であることを示せ。
- (3) 方程式 $f(x) = 0$ が 3 重解をもち、 $f'(0) = f''(0) = 0$ ならば、 $f(0) = 0$ であることを示せ。
- 4 不等式 $-1 \leq x \leq 1$, $-1 \leq y \leq 1$ が表す座標平面内の領域を D とする。原点 O を通る円 C を考える。円 C が D に含まれるという条件のもとで、 C の中心 P が動く範囲を図示せよ。

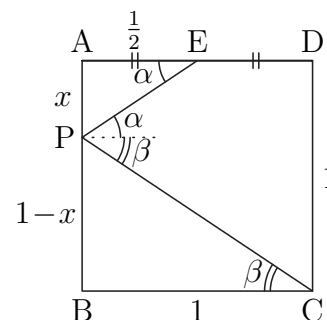
正解

1 (1) $\alpha = \angle PEA$, $\beta = \angle PCB$ とすると

$$\tan \alpha = 2x, \quad \tan \beta = 1 - x$$

したがって

$$\begin{aligned} \tan \angle EPC &= \tan(\alpha + \beta) = \frac{\tan \alpha + \tan \beta}{1 - \tan \alpha \tan \beta} \\ &= \frac{2x + (1 - x)}{1 - 2x(1 - x)} = \frac{x + 1}{2x^2 - 2x + 1} \end{aligned}$$



(2) $f(x) = \frac{x+1}{2x^2-2x+1}$ ($0 \leq x \leq 1$) とおくと

$$f'(x) = \frac{1(2x^2 - 2x + 1) - (x+1)(4x-2)}{(2x^2 - 2x + 1)^2} = \frac{-2x^2 - 4x + 3}{(2x^2 - 2x + 1)^2}$$

このとき $2x^2 - 2x + 1 = 2\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{1}{2} \neq 0$

$$f'(x) = 0 \text{ を解くと } x = \frac{-2 \pm \sqrt{10}}{2}$$

x	0	...	$\frac{\sqrt{10}-2}{2}$...	1
$f'(x)$		+	0	-	
$f(x)$	1	↗	極大	↘	2

$c = \frac{\sqrt{10}-2}{2}$ とおくと $-2c^2 - 4c + 3 = 0$ ゆえに $2c^2 = 3 - 4c$

$$\begin{aligned} f(c) &= \frac{c+1}{2c^2-2c+1} = \frac{c+1}{(3-4c)-2c+1} = \frac{c+1}{4-6c} \\ &= \frac{\frac{\sqrt{10}-2}{2} + 1}{4 - 6 \cdot \frac{\sqrt{10}-2}{2}} = \frac{\sqrt{10}}{2(10-3\sqrt{10})} = \frac{1}{2(\sqrt{10}-3)} = \frac{\sqrt{10}+3}{2} \end{aligned}$$

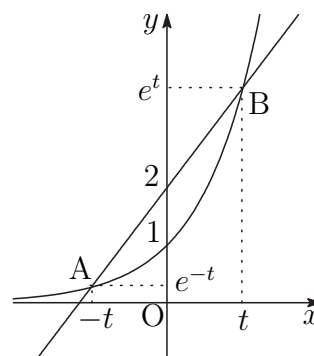
よって $x = \frac{\sqrt{10}-2}{2}$ のとき 最大値 $\frac{\sqrt{10}+3}{2}$, $x=0$ のとき 最小値 1

- 2 点 A, B の x 座標をそれぞれ $-t, t$ とおくと ($t > 0$),
 2 点 $A(-t, e^{-t}), B(t, e^t)$ の中点の y 座標から

$$\frac{e^t + e^{-t}}{2} = 2 \quad \text{ゆえに} \quad e^t - e^{-t} = 2\sqrt{3}$$

上の 2 式から $t = \log(2 + \sqrt{3})$

直線 AB と x 軸, 2 直線 $x = -t, x = t$ で囲まれた部分の面積は



$$S_1 = \frac{1}{2}(e^t + e^{-t}) \cdot 2t = 4t = 4 \log(2 + \sqrt{3})$$

曲線 $y = e^x$ と x 軸, 2 直線 $x = -t, x = t$ で囲まれた部分の面積は

$$S_2 = \int_{-t}^t e^x dx = \left[e^x \right]_{-t}^t = e^t - e^{-t} = 2\sqrt{3}$$

よって, 求める面積は $S_1 - S_2 = 4 \log(2 + \sqrt{3}) - 2\sqrt{3}$

- 3 (1) 4次方程式 $f(x) = 0$ の異なる4つの実数解を x_1, x_2, x_3, x_4 とすると
($x_1 < x_2 < x_3 < x_4$)

$$f(x_1) = f(x_2) = f(x_3) = f(x_4) = 0$$

ロルの定理 (平均値の定理) から

$$f'(c_i) = 0, \quad (x_i < c_i < x_{i+1})$$

となる c_i ($i = 1, 2, 3$) が存在する.

よって, 方程式 $f'(x) = 0$ は3個の異なる実数解をもつ.

- (2) $f(x) = x^4 + ax^3 + bx^2 + cx + d$ とおくと

$$f'(x) = 4x^3 + 3ax^2 + 2bx + c$$

$$f''(x) = 12x^2 + 6ax + 2b$$

$$f'(0) = 0 \text{ より } c = 0, \quad f''(0) = 0 \text{ より } b = 0$$

$$\text{ゆえに } f'(x) = 4x^3 + 3ax^2 = x^2(4x + 3a)$$

$$\text{上式から, } f'(x) = 0 \text{ の解は } x = 0, -\frac{3a}{4}$$

$f'(x) = 0$ の異なる実数解の個数は, 高々2個, すなわち, 2個以下.

- (3) $f(x) = 0$ の3重解を α とし,

$$f(x) = (x - \alpha)^3(x - \beta) \quad \cdots (*)$$

とおくと ($\alpha \neq \beta$)

$$f'(x) = 3(x - \alpha)^2(x - \beta) + (x - \alpha)^3$$

$$f''(x) = 6(x - \alpha)(x - \beta) + 6(x - \alpha)^2$$

$$\text{上の第2式から } 3(x - \alpha)(x - \beta) = \frac{1}{2}f''(x) - 3(x - \alpha)^2$$

これを第1式に代入すると

$$f'(x) = (x - \alpha) \left\{ \frac{1}{2}f''(x) - 3(x - \alpha)^2 \right\} + (x - \alpha)^3$$

$$= \frac{1}{2}(x - \alpha)f''(x) - 2(x - \alpha)^3$$

上式に $x = 0$ を代入すると, $f'(0) = f''(0) = 0$ より

$$-2\alpha^3 = 0 \quad \text{ゆえに } \alpha = 0$$

これを (*) に代入すると $f(x) = x^3(x - \beta)$ よって $f(0) = 0$

4 D 内にある領域 $y \geq x$, $y \geq -x$ が条件をみたすとき, P の境界線の方程式は

$$\sqrt{x^2 + y^2} = 1 - y \quad \text{すなわち} \quad y = \frac{1}{2}(1 - x^2)$$

これと $y = x$ および $y = -x$ との交点の x 座標はそれぞれ $x = \sqrt{2} - 1, 1 - \sqrt{2}$

ゆえに, このときの P の境界線は

$$y = \frac{1}{2}(1 - x^2) \quad (1 - \sqrt{2} \leq x \leq \sqrt{2} - 1)$$

対称性に注意すると, P の境界線は

$$y = \frac{1}{2}(1 - x^2) \quad (1 - \sqrt{2} \leq x \leq \sqrt{2} - 1)$$

$$y = \frac{1}{2}(x^2 - 1) \quad (1 - \sqrt{2} \leq x \leq \sqrt{2} - 1)$$

$$x = \frac{1}{2}(1 - y^2) \quad (1 - \sqrt{2} \leq y \leq \sqrt{2} - 1)$$

$$x = \frac{1}{2}(y^2 - 1) \quad (1 - \sqrt{2} \leq y \leq \sqrt{2} - 1)$$

よって, 点 P はこれらの境界線の内部の領域で境界線を含む.

